2023年度 秋 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL30623B16）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ボリビア	G102 環境教育		個別	交替 2代目	2年	・2024/2・2024/3・2025/1

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

環境・水省

2）配属機関名（日本語）

サマイパタ市役所

3）任地（ サンタクルス県サマイパタ市 ） JICA事務所の所在地（ ラパス県ラパス市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機+ﾊﾞｽ で 約 5.5 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

ボリビア第二の都市サンタクルスから南西に約120km、アンデス山脈の山麓に位置するサマイパタ市は、ボリビアで数少ないユネスコ世界遺産(文化)に登録されているサマイパタの砦(とりで)をはじめ、近隣にはアンボロ国立公園を有する同県の観光重要拠点である。また、気候のよさから保養地としても知られ、外国人観光客も多い。配属先となるサマイパタ市役所は、サマイパタ市の都市開発及び雇用促進、文化・遺産の継承、森林・環境保護等の事業を運営している。2020年まで環境教育隊員が活動していた。

【要請概要】

1）要請理由・背景

サマイパタ市では環境保護政策の優先順位は非常に高く、市民全体の15%が3R(リデュース・リユース・リサイクル)を実践するという目標を掲げており、啓発活動を実施している。また、ごみ処理のルールは整備制定されているものの、十分に浸透しておらず、守られていない。よって、サマイパタ市民や児童・学生をを含む学校関係者、市役所職員に向けての環境啓発ワークショップの実施が求められている。特にごみの分別や再利用のテーマについて関心が高く、観光都市であるサマイパタを持続可能な街・観光地として後世に残していくための協力が求められており、本要請に至った。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

サマイパタ市の環境教育担当者と以下の活動を実施する。
1.ごみの分別に関する現状把握・分析を行う。
2.市内の学校(3～4校)やコミュニティにて、ワークショップやセミナー等環境教育(3R含む)実施支援を行う。
3.文化活動、観光、環境に関するイベントを企画、実施支援を行う。
4.ごみ処理に関する市のルールを市内で浸透させるための支援を行う。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務机、パソコン、プリンター等事務用物品

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
環境担当職員(男性、経験年数:10年)
環境課の課長(男性、経験年数:10年)
活動対象者:
地域住民、生徒、児童、観光ガイド、運送業者等

5）活動使用言語

スペイン語

6）生活使用言語

スペイン語

7）選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（　　　　）

[性別]：（　　　　）　備考：

[汎用経験]：

・ゴミ・コンポスト等の啓発活動経験

[学歴]：（大卒）環境科学　備考：配属先の希望

[経験]：（実務経験）2年以上　備考：配属先の希望

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候）　気温：（10〜25°C位）

[通信]：（インターネット可　電話可）

[電気]：（安定）

[水道]：（安定）

【特記事項】

就業時間:8時〜18時(12時〜14時休憩)
学校や地域を巡回することが想定される。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.